

R4/3月2日 講演会

1. あなた自身について、教えてください。

■ 年齢 20代 1名 30代 2名 40代 6名 50代以上 8名

■ お勤めの場所は 水俣市 ・ 芦北町 ・ 津奈木町

■ 所属する機関について

居宅介護支援事業所 4名 障がい者入所施設 1名

介護保険居宅サービス事業所 2名 医療機関 1名

介護保険入所サービス事業所 4名 その他 3名

障がい者通所施設 2名

■ 主として行っている仕事の内容からひとつ選んでください。

介護支援専門員 5名 社会福祉士 2名 生活指導員 2名 作業療法士 1名

事務職 2名 施設の管理者 3名 その他 2名

2 本日の研修内容は如何でしたか。

十分理解できた 9名 理解できた 7名

3 本日の研修内容は、今後の業務や自分の活動に生かすことができますか。

全員はいと回答

4 本日の講演会についてのご意見や感想、もう少し詳しく聞きたかった、知りたかったという事がありましたらご記入下さい。

【コメント】

- ・水俣・芦北からも気軽に通えるリワークプログラムを提供してくれるところがあるのか？
ムリなら…復職とリワークプログラムの中間的なことが私達職場内でもできるのか？
- ・不調のサイン、リワークプログラム、その必要性や再発防止が重要など大変勉強になりました。
職場の配慮で改善が期待できることなども…
- ・どの事業所も直面するメンタル不調者への復職対応という難問について、大手企業の産業医として従事されている櫻木先生ならではの実体験に基づいた解説がわかりやすく、また、参加者からの質問に対する回答も的確で理解の助けになりました。今回のような研修の機会がありましたらまた参加してみたいです。
- ・研修ありがとうございました。リワーク（プログラム含む）について学ぶ機会がなかったので、今回の研修、とても学び多き時間となりました。
今回の研修にて、人間関係が要因となった場合、解決することが難しく、「離す」という対応もありましたが、離すことが出来なかつたり、異動した先からすると、リワークの方がストレスサーになってしまうケースもあるのではないかと思います。全体での人事を考える必要がある場合、どこに気を付ける必要があるのかについて更に知りたいと思いました。
また、上長がストレスサーの場合、上長に対して言う者がいない場合の対応や自身がストレスサーとならないポイント。ストレスサーになっている可能性があるという気づきのポイントも知りたいと思いました。
- ・新しい知識を学ぶことができて良かったです。
- ・現在、当園はメンタル不調の職員がいた場合、看護師、人事、上長を通じて嘱託医につ

ないでいる。そのうえで、段階を得て復職につなげることもある。リワークプログラムが実践できたらと思った。また、ストレスサーがメンタル不調にならないよう慎重にすすめる必要もあると感じた。ありがとうございました。

- ・大変参考になりました。とても良い講演会でした。
- ・本日の研修で、メンタル休職者の不調の要因を究明し、その要因を出来る限り取り除くことが、復職に向けた事業主の重要な取り組みであると認識しました。今後も、メンタル不調者に寄り添い、他の職員も含めてみんなが働きやすい職場環境が整備できればと思います。本日は、貴重な研修をありがとうございました。
- ・復職後、周りから見ても無理している（動き回ろうとする、あれもこれもと頑張ろうとする etc）と判断した場合、どのような声掛けや関りがベターなのか、教えていただけますでしょうか？
- ・EAPについて講演して欲しい。
- ・分かりやすい内容と解説で大変勉強になりました。特にメンタル不調の要因において、職場側で対応出来るものが多いということは知れて良かったです。ストレスサーが上長の場合の対応が難しいと感じました。降格・配置換えなどの対応を取ったとしても職場に残ることは変わらず、別の人のストレスサーになることは必須だと思われるので、根本的な解決に向けてどのように対応していけばよいのか知りたいです。
- ・メンタル不調の要因で最も大事なことは、原因を取り除き、距離をおくとあるが、人間関係など働いている以上、離れられない場合もある。特に福祉分野は、人材の確保が難しく、離職率も高い。要因を作った人の場合、その人へのプログラムはないのか？（改善していくために）例：アンガーマネジメントなど・・・
- ・復職支援等のお話は興味のある話でした。ただ、鬱病の病識がない人に精神論や心の風邪を引いているから病院に行きなさいでは精神科の病院はあまりにもハードルが高すぎると思います。上司の対応としてどのような支援で鬱を克服することができたのか等の具体例を交えてのお話を聞きたかったです。
- ・とても聞きやすく、わかりやすかったです。友人・職場でも心配な人が居るので、参考にしていきたいと思います。
- ・復職支援についての具体例等もあり、とても解りやすく有難い内容でした。現在、求職中の仲間が復職する際に生かしたいと思います。感情労働をしている私たちは、いつもメンタルヘルスについて意識していますが、ギリギリで頑張らなければならない日もあります。復職した仲間のサインに早く気づけるよう、理解を深めたいです。
- ・とても解りやすかったです。なかなか人材不足の介護分野では難しい事も多いですけど、また居宅では、仕事内容、求められることが多くて、どうこれを解決するかは長い課題です。ありがとうございました。
- ・とても勉強になりました。身近な人が体調不良なので、色々ヒントになりました。ありがとうございました。